

# さっぽろ未来創生プラン 平成 28 年度の実施状況

## 1 さっぽろ未来創生プラン 総合戦略

札幌市の人口は、これまで一貫して増加してきましたが、少子高齢化の進行などにより、ここ数年のうちに、人口減少に転じることが見込まれています。

人口減少の緩和を図るため、目指すべき札幌の将来の実現に向けて、「経済的な不安を軽減し、結婚・出産の希望をかなえることで、子どもが増え経済が活性化し、さらなる雇用の創出につながる」という、市民が明るい未来を描くことができる好循環の確立を目指し、平成 27 年度から平成 31 年度までの5か年の基本目標や施策等を盛り込んださっぽろ未来創生プラン（総合戦略編）（以下「プラン」という。）を策定しました。

## 2 効果検証

プランでは、計画期間である5年間で目指すべき数値として「数値目標」及び「KPI」を設定し、進捗管理を行うとともに、外部有識者などの意見も取り入れつつ、施策の効果を検証し、必要に応じて取組内容の変更や追加を行うこととしています。

## 3 平成 28 年度の実施状況

プランでは、目指すべき将来の実現に向け、「安定した雇用を生み出す」と「結婚・出産・子育てを支える環境づくり」の2つの基本目標を掲げ、様々な施策に取り組んでいます。この基本目標に位置付けた個々の施策を着実に推進することはもとより、これまで以上に分野横断的な視点で関連する施策を意識し、効果的に取り組むため、「さっぽろ」の未来をつくる重要なテーマとして、「グローバル展開」、「まちの魅力アップ」、「若者の希望実現」、「安心子育て」、「人材の育成」の5つのテーマを設定し、特に関連性のある施策群を「未来創生アクション」として取りまとめています。

平成 28 年度は、「グローバル展開」では、アジア諸国を中心とした海外からの誘客の促進や北海道・札幌の「食」の海外展開、「安心子育て」では、子育て支援施設の整備による保育定員の増加や女性の活躍といった各施策を実施し、平成 29 年度においてもそれらの施策を加速していきます。

また、施策の実施に当たっては、国が一億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として創設した「地方創生加速化交付金」や、地方版総合戦略の本格的な推進に向けて創設した「地方創生推進交付金」を積極的に活用しています。

※次ページ以降、  
「地方創生加速化交付金」対象施策には【加速化】  
「地方創生推進交付金」対象施策には【推進】 をそれぞれ記載  
「地方創生拠点整備交付金」対象施策には【拠点整備】

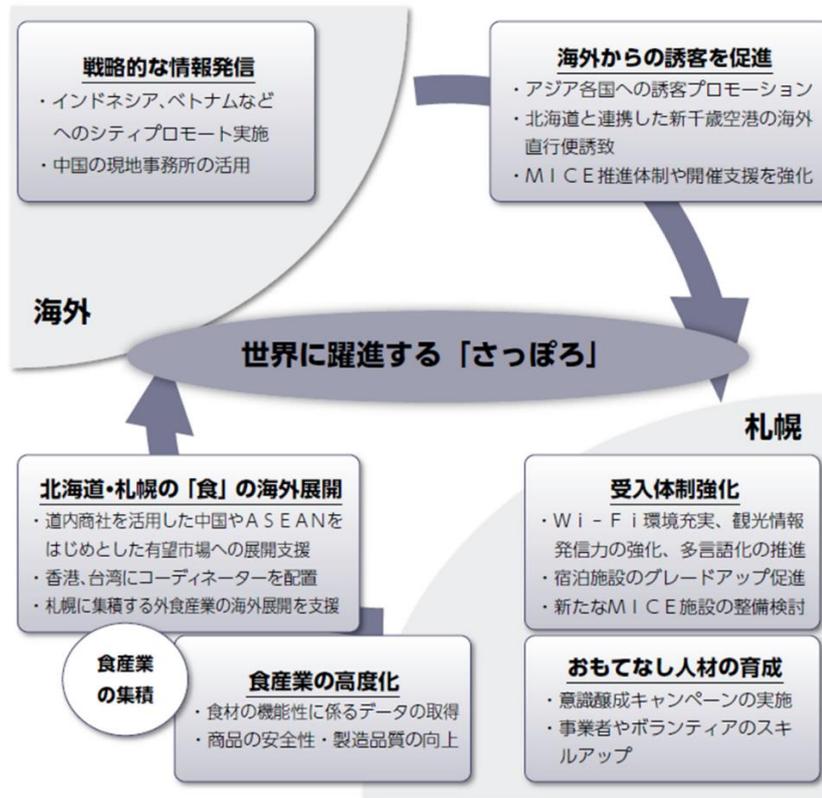
## 4 数値目標

指 標	当初値	28 年	傾向	目標値
合計特殊出生率	1.16 (26 年)	1.18 (27 年)		1.36 (31 年)
20～29 歳の道外への転出超過数	2,637 人 (26 年)	2,370 人 (28 年)		1,300 人 (31 年)

## 5 総合戦略の実績

【未来創生アクション1 グローバル展開】

プラン P53

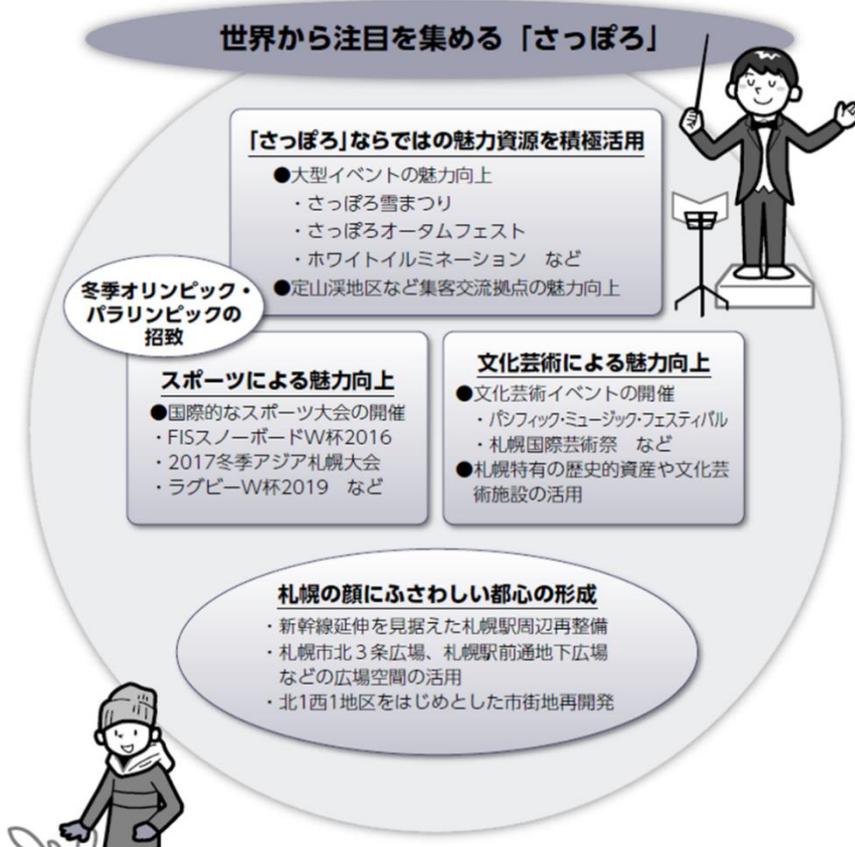


● 主な取組 (< >内は参考資料2の「主要事業の取組結果」の掲載箇所を掲載)

平成 28 年度 (実績)	平成 29 年度 (新規・レベルアップ)
<p>➢ 経済効果の高い国際会議やインセンティブツアーなどの MICE を積極的に誘致するため、海外ターゲット国への誘致活動や東京都などと連携した誘致促進活動を行いました。【推進】 &lt; P1-⑤ &gt;</p> <p>➢ 観光客の受入環境の強化や来札者の満足度向上のため、冬季アジア大会におけるおもてなし活動の実施や観光ボランティアへの支援を実施しました。 &lt; P10-⑤ &gt;</p> <p>➢ 今後、有望と見込まれる IT 産業、環境・インフラ産業などの海外展開を促進するため、企業団の招へいや現地視察、商談会展出などを支援したほか、食関連産業の海外展開支援のため、北海道・札幌市海外拠点連携協議会を設立しました。【推進】</p>	<p>○ MICE 誘致を促進するため、コンベンション主催者への助成上限額の引き上げを実施した他、シャトルバス助成金制度を新設【推進】</p> <p>○ 食、夜間観光、外国人向けといった新しい観光資源を創出し、積極的に発信【推進】</p> <p>○ 食関連企業の ASEAN 市場での販路拡大を推進するほか、海外展開強化のため香港にコーディネート機能を設置【推進】</p> <p>○ 健康・医療・バイオなどの健康関連産業の研究開発支援のほか、海外商談会・展示会等へのバイオ関連企業の出展を支援【推進】</p>

● 主な K P I (重要業績評価指標)

K P I	当初値	28 年度末	傾向	目標値
国際会議の開催件数	101 件 (26 年)	115 件 (28 年)	➡	120 件 (31 年)
年間来客数	1,342 万人 (26 年)	1,388 万人 (28 年)	➡	1,441 万人 (31 年)

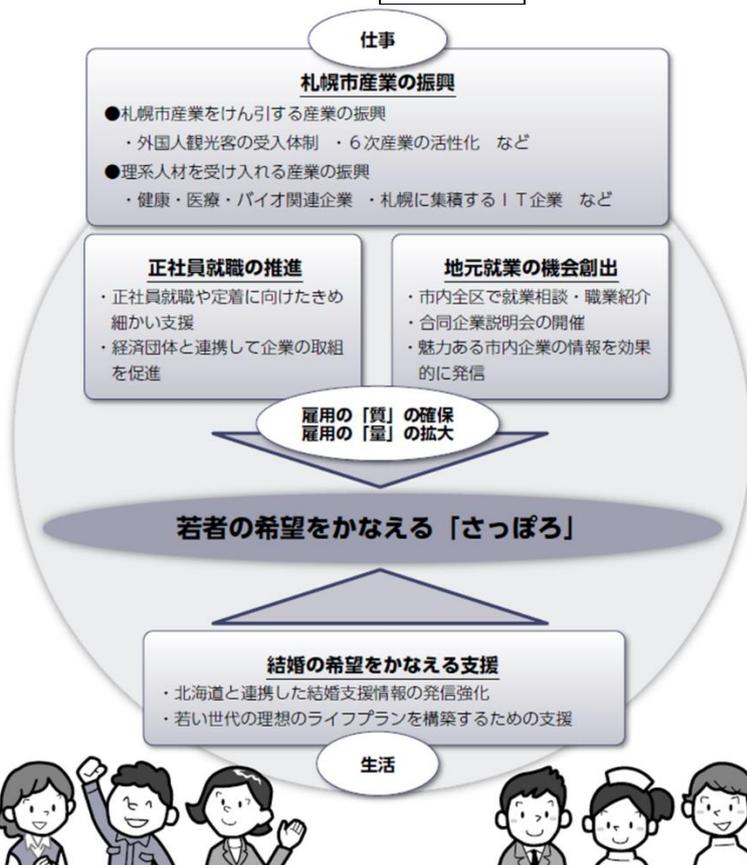


●主な取組（＜ ＞内は参考資料2の「主要事業の取組結果」の掲載箇所を掲載）

平成28年度（実績）	平成29年度（新規・レベルアップ）
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ホワイトイルミネーションの大通会場を拡大したほか、メディアアーツを活用した新しいイルミネーションを設置しました。＜P3-①＞</li> <li>▶ 冬季オリンピック・パラリンピックの招致推進に向けた広報活動を行ったほか、広くアジア地域への札幌市・北海道の魅力発信や、市民・道民の国際理解の深化のため、冬季アジア札幌大会を開催しました。＜P2-④、⑤＞</li> <li>▶ 10周年目となるサッポロ・シティ・ジャズを開催し、その特別企画としてジャズに親しむ子どもたちの国際交流イベントを実施しました。</li> <li>▶ 世界を引き付ける都心の実現のために、デジタルサイネージなどのICTインフラを整備するとともに、データの収集・管理を行う民間推進体制の組成支援を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ クリエイティブ産業の活性化や創業支援、新産業の創造、札幌・北海道の魅力向上などのため「No Maps」の開催を支援</li> <li>○ 地域特性を活かした国際芸術祭を開催するほか、文化芸術活動の拠点と、人の交流の場の両機能を合わせ持つ札幌市民交流プラザを整備</li> <li>○ 冬季オリンピック・パラリンピック招致に向けた候補地立候補手続に着手</li> <li>○ アイヌ文化への理解を一層促進する空間を地下鉄南北線さっぽろ駅コンコースに整備【拠点整備】</li> </ul>

●主なKPI（重要業績評価指標）

KPI	当初値	28年度末	傾向	目標値
札幌市内での総観光消費額	4,293億円 (26年度)	5,229億円 (28年度)	➡	4,414億円 (31年度)
観光地としての総合満足度 （「満足」と答えた人の割合）	23.0% (26年)	24.6% (28年)	➡	36.1% (31年)



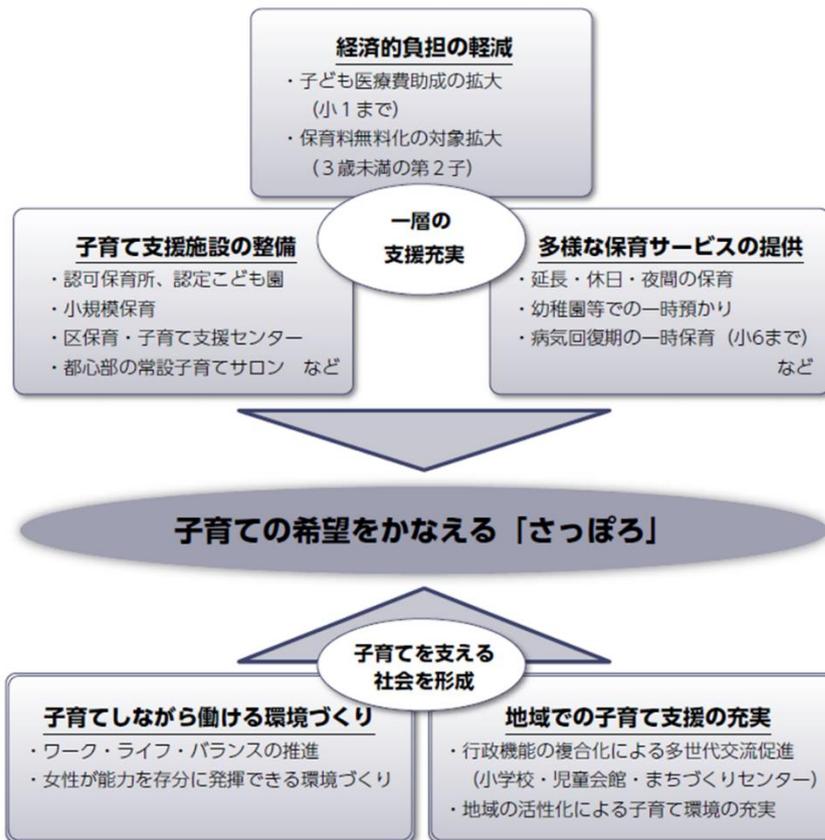
● 主な取組（＜ ＞内は参考資料2の「主要事業の取組結果」の掲載箇所を掲載）

平成28年度（実績）	平成29年度（新規・レベルアップ）
<p>▶ 市内IT企業と「食」を始めとする他産業の企業との連携を促進することで、ITを活用した新たな製品やサービスの創出、販路拡大を図ったほか、起業に関する講座の開催や起業家の表彰、経営支援などにより起業マインドを醸成し、起業に挑戦する方を支援しました。＜P6-④、P7-②＞</p> <p>▶ 理系人材の流出や厳しい雇用イメージによる人材不足が深刻なIT産業の人材を確保するため、インターンシップフェアの実施やUIJターンフェアを開催しました。【加速化】＜P11-①＞</p> <p>▶ 人材の円滑な採用や育成を図るとともに非正規社員の正規雇用化を促すため、人事コンサルタント等の専門家を派遣したほか、中小企業の採用力や人材育成力強化のための企業向けセミナーを実施しました。【加速化】＜P11-④＞</p>	<p>○健康・医療・バイオなどの健康関連産業における研究開発を支援するとともに、そのための環境整備を進め、関連産業の集積と活性化を促進【推進】</p> <p>○イノベーションの創出やビジネス活性化を図るため、人流情報等のデータを活用する環境整備や市内IT産業の活性化を図る実証実験を実施【推進】</p> <p>○東京圏の新卒者等のUIJターンを支援する一環で、インターンシップ説明会等を新たに実施【推進】</p> <p>○若手求職者や非正規社員、新卒未就職者等向けに就職に必要な能力や社会人基礎力を習得させる研修を拡充【推進】</p>

● 主なK P I（重要業績評価指標）

K P I	当初値	28年度末	傾向	目標値
20～29歳の首都圏からの転入者数	3,427人 (26年)	3,557人 (28年)	➡	4,000人 (31年)
市内新規学卒者の道内就職割合	60.5% (26年度)	57.2% (28年度)	➡	65.0% (31年度)

【未来創生アクション4 安心子育て】 プラン P56

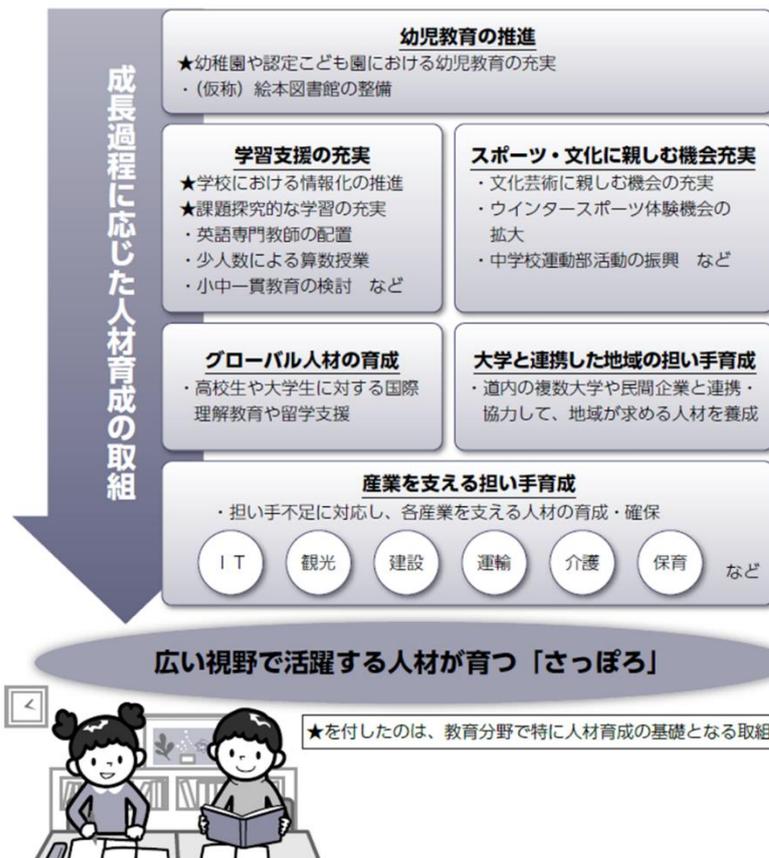


● 主な取組（＜ ＞内は参考資料2の「主要事業の取組結果」の掲載箇所を掲載）

平成28年度（実績）	平成29年度（新規・レベルアップ）
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶夜間・早朝の産婦人科領域の相談に応じるため、対応時間を拡充したほか、妊娠・出産への包括的な支援の強化として、新たに助産師が産後の生活や育児相談等のケアを実施しました。＜P13-⑤＞</li> <li>▶仕事と暮らしの調和したライフプランの実現を図るため、若者向けポータルサイトの開設や、ライフプランセミナーの開催を行いました。＜P13-②＞</li> <li>▶働く女性の結婚・出産・復職・離職防止などを支援する各種セミナーや職場体験インターンシップを開催しました。【加速化】＜P12-②、③＞</li> <li>▶保育ニーズの高い低年齢児の保育定員を拡大するため、小規模保育事業所の整備に係る補助額を増額したほか、「保育士・保育所支援センター」を開設し、保育士の復職支援や求人マッチングに取り組みました。＜P10-①、P14-①＞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○不育症治療に係る医療費の一部を助成する制度の新設</li> <li>○子どもの生活・教育・就労等の分野を総合的に支援するため子どもの貧困対策計画を策定</li> <li>○最も保育料の高い3歳未満児童を対象として、第2子の保育料を無料化</li> <li>○子育て世帯の多様な働き方支援のために、休日保育実施施設をさらに増加</li> <li>○私立保育所等補助事業の支援メニューの中に加配保育士の雇用を促進するための補助金を拡充</li> </ul>

● 主なK P I（重要業績評価指標）

K P I	当初値	28年度末	傾向	目標値
子どもを生み育てやすい環境だと思う市民の割合	59.8% (26年度)	56.1% (28年度)	➡	75.0% (31年度)
仕事と生活の調和がとれていると思う人の割合	47.3% (26年)	50.5% (28年)	➡	65.0% (31年)



● 主な取組（＜ ＞内は参考資料2の「主要事業の取組結果」の掲載箇所を掲載）

平成 28 年度（実績）	平成 29 年度（新規・レベルアップ）
<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 白石区役所の移転に伴い整備された白石区複合庁舎に絵本図書館を開設しました。＜P15-⑤＞</li> <li>▶ ウィンタースポーツの指導者不足を解消し学習環境を充実させるため、中学校・高校のスキー授業及び小学校の歩くスキー授業にインストラクターを派遣しました。＜P18-①＞</li> <li>▶ 介護事業者への採用力向上セミナーや個別支援を実施したほか、介護従事者の人材定着の推進を目的とした、労働環境の改善を図る各種研修を実施しました。＜P9-⑤＞</li> <li>▶ 建設業従事者の担い手対策として、女性従事者の労働環境改善や装備品購入のための助成に加え、学生へのインターンシップを実施する企業への助成を行いました。＜P10-②＞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学生向けに、ウィンタースポーツを幅広く体験する講習と、高いレベルの技術指導を受けられる上級者向け講習を開設</li> <li>○ 市立高校に各校の特色を生かした教育内容の充実を図るコンシェルジュを配置</li> <li>○ ICTの活用のために、市内の小中学校で授業用タブレット PC を整備</li> </ul>

● 主な K P I（重要業績評価指標）

K P I	当初値	28 年度末	傾向	目標値
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している子どもの割合	小6 71.4% 中3 66.4% 高2 58.8% (26 年度)	小6 72.5% 中3 67.4% 高2 61.2% (28 年度)	➡	小6 76.0% 中3 72.0% 高2 67.0% (30 年度)
将来の夢や目標をもっている子どもの割合	小6 84.6% 中3 70.0% 高2 72.6% (26 年度)	小6 83.9% 中3 68.6% 高2 71.9% (28 年度)	➡	小6 89.0% 中3 77.0% 高2 79.0% (30 年度)